

学校事務職員研修会

「鳥取の覚悟は『学校を変える力になる』埼玉は？
～やるか やらないか 決めるのはあなたです～」

平成 27 年 **8/26** (水)

受付 13:20 研修 13:35～

会場 春日部市商工振興センター

(アクセス春日部) 4 階講堂

講師紹介

鳥取県総務部長 伊澤 勇人 氏

昭和34年、鳥取県西伯郡伯耆(ほうき)町生まれ。昭和58年鳥取県庁入庁。農林水産部、人事委員会、企画部、教育委員会、総務部職員を経て、平成27年4月より現職。

平成17年に鳥取ショック(右下参照)が起こった際、行財政改革を推進する立場である、総務部人事企画課長に在職。

鳥取県境港市立第一中学校

事務主幹 青砥 真由美 氏

昨年度の全国公立小中学校事務研究大会分科会において、鳥取支部の代表として発表を行った。

「とりビジョン」改訂作業のメンバーの1人。

鳥取県教育委員会事務局西部教育局勤務経験あり。

学校を取り巻く環境が変化するなかで、私たち事務職員の役割も多岐にわたるようになり、変化が求められています。他県の例から学校事務という職を客観的に見つめ直し、自分自身の現状と向き合い、「自分はどうなりたいのか」、「自分にできることは何か」をこの研修会で、真剣に考えてみませんか？

鳥取ショックとは・・・

平成16年12月、鳥取県議会の「鳥取県職員の給与の適正化に関する決議」(いわゆる「わたり」の廃止)をうけて、翌年1月に鳥取県教委から、学校事務職員の「主任主査制度廃止案」(「部下を持たない学校事務職員の給料は3級止まり」という案)が出たんだ。危機を感じた鳥取県の事務職員の皆さんは、共同実施を推進したんだよ。どの県、どの政令市でも起こり得る議論かもしれないね。

